

S 県 B 型事業所における農作業向上について（Ⅱ）

ー淡路式農作業分析表、農作業難易度分類、淡路式園芸療法評価表からの事例検討ー

○畠山富士雄

船津静哉

久野建夫

（NPO 法人らいふステージ金立ファーム）（NPO 法人らいふステージ）（周継会教育学・発達医学研究所）

KEY WORDS: 農福連携、B 型事業所、淡路式農作業分析表等

Ⅰ. はじめに

近年、国は農福連携を推進している。著者らは前回大会で、農福連携に向けた事例を紹介した(2020)。今回新たに豊田 (2016) らの淡路式農作業分析表、農作業難易度分類、淡路式園芸療法評価表を検討した。その結果を報告する。

Ⅱ. 目 的

農福連携に向け、淡路式農作業分析表、農作業難易度分類、淡路式園芸療法評価表を用いた事例を検討する。

Ⅲ. 方 法

1. 農業分野の依頼主 Y 氏との連携の経過の中で、淡路式の作業分析表、農作業難易度分類、淡路式園芸療法評価表について検討した。

表 1 農作業難易度分類を使用した結果（一部抜粋）

難易度	1-1-5	2-1-5	3-1-5	4-1-5	5-1-5
5				機械で育苗作り	刈払機草刈り 玉葱の紐結び
4				ジャガイモの種芋適量切断 トマト芽欠き	紐を切り、紐を結び玉葱干し
3		通路・株間が狭い除草	ホースでかん水	スコップでジャガイモ収穫	
2	玉葱収穫手で除草	顆粒肥料と石灰を適量株間散布 ジャガイモ定植土寄せ	小粒など大根の種蒔き 支柱立て	トマト人工授粉 鍬で畝立て	
1 (注意配分数)	竹運び 馬糞を一輪車で運搬、株間に散布 育苗箱運び				
	1 (巧緻性)	2	3	4	5

表 3 淡路式農作業分析表を使用した結果（一部抜粋）

作業	パターン化	作業負担	両手の使用	主な注意の対象	巧緻性	注意配分数	危険度	工程数	工 程
1 ジャガイモ種芋植え	有り	4	3	種芋間 50 cm に種芋を置く	3	2	1	5	溝を掘る→種芋を 50cm 間隔で置く→種芋間に馬糞を入れる→肥料を一握り入れる→肥料を種芋につけない→土をかぶせる
2 玉葱の収穫	有り	3	5	紐を切る時は注意し、丁寧に紐で結ぶ。	5	3	3	5	玉葱の形、大きさを選ぶ→両手で運ぶ→紐を切る→紐を挟み等で切る→玉葱 5～6 個を紐で結ぶ→2 本の紐を結ぶ→（屋根下に吊す）
3 トマト苗等を植える	有り	2	5	ポットから苗を出す時、上手に逆さにする 苗の土の高さに穴を掘る。 直接、苗を触らない	4	2	1	7	植える穴の位置を確認する→苗が丁度入る大きさの穴を掘る→水を穴に入れる→苗の入ったポットを逆さに入れる→苗の入ったポットを逆さにする→苗が落ちないように、2 本の指の間に苗を挟み、ポットを上引き上げ抜く→苗の根元の土をこぼさないようにして掘った穴に入れる→根元の周囲の土を→苗の根元の土をこぼさないように寄せる→水を根元に十分まく

表 2 6 名の利用者の淡路式園芸療法評価表の一部結果

	A	B	C	D	E	F
1 意欲 態度	3.0	2.8	2.4	2.2	1.6	1.8
2 時間の検討	3.0	3.0	2.0	3.0	2.2	1.8
3 注意の配分	1.0	1.0	2.0	2.8	1.0	1.0
4 短期記憶	3.0	2.8	2.0	2.8	2.0	2.0
5 長期記憶	1.0	1.0	2.0	2.8	1.0	1.0
6 思考（期待感）	3.0	2.0	2.0	1.6	1.0	1.0
7 高次認知機能	3.0	2.6	2.0	2.6	1.4	1.2
8 課題の遂行	3.0	2.6	2.0	2.2	2.0	2.0
9 コミュニケーション	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.0
10 満足	2.0	2.0	3.0	2.4	1.0	2.0
合 計	23.0	20.8	21.4	24.4	14.2	14.8

Ⅳ. 結 果

20XX 年 2～5 月、NPO 法人らいふステージ金立ファーム近くに畑を所有する Y 氏から依頼で、ジャガイモ作り、玉葱作り、春夏野菜の苗植え、竹チップの制作、米の育苗の 5 種類の農作業を行い、6 名の利用者の農作業を数的に分析した。その結果の一部を表 1～表 3 に示した。

Ⅳ. 考 察

著者らは、これまで、知的障害特別支援学校農耕作業学習で、キャリア教育と ICF、自閉症教育、キャリア教育の視点、さらに、アクティブ・ラーニングの視点でも作業能力を向上させた。さらに今回、農作業を分析数値化できる淡路式農作業分析表、農作業難易度分類、淡路式園芸療法評価表は農福連携の推進に有効と考えられた。

Ⅴ. 今後の課題

農福連携の推進のため、事例の積み重ねが必要である。

Ⅵ. 謝 辞

今回、事例の提供を頂いた Y 氏に感謝申し上げる。

Ⅶ. 文 献

豊田正博（2016）、障害者と農作業のマッチング・ハンドブック、兵庫県社会福祉事業団総合リハビリテーションセンター能力開発課。

畠山富士雄・船津静哉・久野建夫(2020)、日本特殊教育学会第 58 回大会（2020 福岡大会）ポスター発表（障害一般）P12-53。

（倫理的配慮）この発表に関し NPO 法人の機関決定を得た。又、利用者 6 名及び Y 氏から文書による承諾を得た。（HATAKEYAMA Fujio, FUNATU Shizuya, KUNO Tateo）